施工状況報告書

ビューローベリタスジャパン株式会社 殿

建設住宅性能評価の申請を行うにあたり、施工状況報告書を提出します。この施工状況報告書に記載する内容は、事実に相違ありません。

評価対象建築物の名称※	
評価対象建築物の所在地※	
工事施工者※	住所
	氏名又は名称
	電話
	現場代理人

	検査対象工程	検査年月日	評価員の署名	施工(管理)者の署名
第1回目				
第2回目				
第3回目				
第4回目				

[記入要領]

- 1. ※印の付されている欄は、建設住宅性能評価の申請の際に申請者が記入してください。
- 2. 「検査対象工程」、「検査年月日」、「評価員の署名」欄は、検査を行った評価員が検査終了後に記入してください。
- 3.「性能表示事項」欄の(等級)には、設計住宅性能評価時の等級を申請者が記入してください。
- 4.「変更内容」、「関連図書」、「管理の時期」、「確認内容」は、施工(管理)者が記入してください。
- 5.「検査方法」、「判定結果」は、検査を行った評価員が記入してください。

No.1

	W-45 = -	ı	1/ –		•/					+/			惻を肔工(官理 <i>)</i>	石が記入りこと
	性能表示	14		C状況報告欄%	_						_		確認欄	
	事項(等級)	検査項目	変更等	関連図書				拂	確認内容※				判定結果及び打	
			の内容		1	2	3	4			В	С	[一次]	[二次]
構	耐震等級	部材の品質	□無						○部材の品質					
造	耐風等級												適・不適	適・不適
0)	耐積雪等級													
	並びに	土台·柱等	□無			П			□柱の小径					
	基礎方法	TD E 4							□ E->-1 E		ľ		適・不適	適・不適
	及び形式								 ○土台の継手位置		ļ		旭 小旭	, III (III)
関	IX O'NDEC								○エロの松子位直			ш		
	工(長/広(床)				<u> </u>						-	_	-	
	耐震(倒壊)					Ш			□アンカーボルトの品質					
る	□ 等級3													
\subseteq	□ 等級2								□アンカーホ・ルトの					
と	□ 等級1								埋込み長さ					
	□ 評価対象外								□アンカーボルトの位置					
	耐震(損傷)													
	□ 等級3	耐力壁	□無						□筋かい耐力壁の					
	□ 等級2	(筋かいの場合)							位置、長さ	\mathbb{I}^-	_		適・不適	適・不適
	□ 等級1	(ADD V V V V V V V V V V V V V V V V V V							□筋かいの種類・					UE 11,UE
	□ 評価対象外										Г			
		(Z.b. o.18 A.)			 -	-			断面	╟═	╂═		1	
		(面材の場合)	□無			Ш			□面材の耐力壁			Ш		
	耐震(その他)								の位置、長さ					
	□ 免震								□面材の種類、厚さ					
	□ その他													
	耐風								□釘の種類と					
	□ 等級2								面材の止め付け状態					
	□ 等級1	準耐力壁	□無						□準耐力壁			П		
	口 否選択	十四1/7王							の位置・長さ		ľ		適・不適	適・不適
	耐積雪												. 地。小. 地	心。小顺
						Ш			□垂れ壁、腰壁			ш		
	□ 等級2								の位置、長さ		<u> </u>			
	□ 等級1								□垂れ壁、腰壁の					
	□ 区域外								巾と両隣の状況					
	口 否選択								□面材の種類、厚さ					
									□面材の高さ					
									шшт гас		_			
									 □釘の種類と					
											╽╵			
		-t- /on lete				_			止め付け状態		_			
		床組等	□無									Ш		
									種類		ļ		適・不適	適・不適
									□火打ちと取り合う梁					
									○火打ち材の					
									止め付け状態					
I			□無			П	Ì	П	□面材の種類、厚さ					
									口面有・グ生族(子C		ľ		適・不適	適・不適
														旭 7 八旭
									□恨人の寸法、间隔		╽⊔	Ш		
										<u> </u>	<u> </u>			
									□根太の取付工法					
									□釘の種類と					
I				ĺ				1	止め付け状態		1	1		
I		屋根面	□無						□屋根勾配					
I		لللاجرا عا						1	—/L A 7HU	ľ	I ¯	1	適・不適	適・不適
I					Н	П		Н	 □面材の				사르 1.11년	/CE 1./UE
1										I^{-}	I۳	ľ		
1								H	種類、厚さ		_	_		
1	[Ш			□垂木の	\mathbb{I}^{\sqcup}		l		
I									寸法、間隔	L	1		[
1	[□釘の種類と					
	1								留付け状態	I	1			

No.2

	性能表示		1/4	工状況報告欄ን	%			_		1/4			懶ど施工(官理 <i>)</i> 確認欄	有が記入りこと
	事項(等級)	検査項目	変更等		_	тна	\п±.+	₩п					唯配懶 判定結果及び打	4 佐東西の割ね
	尹贺(守顺)	快 且 快 日	変更等 の内容	関連図書			3 4		確認内容※			C		百間争項の記録 二次
	耐震等級	接合部(1)	□無		1		J .	4	□接合金物の品質					
の	耐風等級耐積雪等級								□筋かい端部の				適・不適	適・不適
	並びに								の接合部	⊩		_		
	基礎方法					Ш			□柱脚、柱頭					
	及び形式								の接合部					
関セ	耐震(倒壊)					Ш			□床、屋根の接合部					
	□ 等級3								口阳关广泛社					
る	□ 等級2					Ш			□胴差しと通柱					
<u></u> と	□ 等級2 □ 等級1	基礎 1	□ 4m;			Н	-	-	の接合部 □基礎の配置	╠				
_		基礎 Ⅰ (寸法・配筋)	□無										`* 7 `*	`* 7 `*
	耐震(損傷)	(寸伝・凹肋)							口担すた流さ	┢			適・不適	適・不適
	□ 等級3								□根入れ深さ	╟╜		Ш		
	□ 等級2													
	□ 等級1				Г	Ш			ロエエリ部分の向さ	╟╜				
	□ 評価対象外					П			□立上り部分の厚さ	\mathbb{L}				
	口 否選択					Ш			ロエエリ部分の含含	╟╜		Ш		
	耐震(その他)					П				Ь				
	□ 免震								口座帳瓜盆の竹仏	╙				
	口その他								 □主筋の径、位置	Ь				
	耐風				Г				ロエ別が住、位直	╙				
	□ 等級2						1		 □補強筋の径、	\mathbb{L}				
	□ 等級1								位置等	╚				
	口 否選択						1		○開口周辺等の	\mathbb{L}				
	耐積雪								補強	╚				
	□ 等級2	横架材	□無				\dashv		□床大梁の					
	□ 等級1	19000							断面、間隔	╽			適・不適	適・不適
	□ 区域外								□床小梁の	\mathbf{I}_{\Box}				, LE 1, LE
	口 否選択								断面、間隔	╽				
									□小屋梁の					
									断面、間隔	▮				
						П			□胴差の	I_{\Box}		П		
									断面、間隔	$\ -$	_			
						П			□根太の	ln		П		
									断面、間隔					
									□垂木の					
									断面、間隔					
		免震建築物	□無						□免震層					
							-	_	口名電社料				`* 7 `*	`* `
									□免震材料				適・不適	適・不適
									□上部構造					
									□下部構造					
									□落下・挟まれ防止					
									等					
									□表示					
									□管理に関する計画					
	Lit. de					Ш				<u> </u>				
	地盤又は杭の許容ま特	地盤	□無						□地盤の種類、				適・不適	適・不適
	の許容支持 力等及びそ			1	<u> </u>	Ш			支持力	L			ALS ALS	7.1 P.
1	の設定方法	地業	□無						□地業の状態				適・不適	適・不適
Ī						Ш				<u> </u>			7.2 7.000	7.00 I 7.000
	基礎の構造	基礎 2	□無						□基礎の構造方法			l		
	方法及び形式等	(形式)			_					 			適・不適	適・不適
1	- 14	Ī						1	□基礎の形式		I	1		

No.3

検査方法 - A: 実物の目視 B: 実物の計測 C: 施工関連図書の確認

※の欄を施工(管理)者が記入のこと

	性能表示		施	L状況報告欄?	*					施:	工制	け沢	確認欄	
	事項(等級)	検査項目	変更等	関連図書	管	理0	り時	期	確認内容※	検	査力	テ法	判定結果及び打	指摘事項の記録
			の内容		1	2	3	4	4年101147	А	В	С	一次	二次
火	感知警報	感知警報	□無						□感知部分の					
災	装置設置	装置							設置場所				適・不適	適・不適
時									□感知部分の					
\mathcal{O}	□ 等級4								種別					
安	□ 等級3								□感知部分の					
全	□ 等級2								取付位置					
に	□ 等級1								□感知部分の					
関									感度等					
す									□警報部分の					
る									設置場所					
									□警報部分の性能					
と	口選択	寝室	□無						□寝室の位置				適・不適	適·不適
	口否選択												20 1 20	2
	脱出対策	バルコニー	□無						□避難器具の					
	(3階以上)	及び							設置				適・不適	適・不適
	□ 該当なし	避難器具												
	口選択								ずるバルコニーの有無					
	口否選択									<u> </u>		ļ		
	耐火等級	開口部	□無						□対象となる範囲					
	〔開口部〕												適・不適	適・不適
	(等級4)								□開口部の					
	口選択								耐火性能					
	口否選択									!	<u> </u>	<u> </u>		
	耐火等級	外壁、軒裏	□無						□対象となる範囲					
	〔開口部以外〕												適・不適	適・不適
	(等級4)								□外壁の構造					
					\bot					 _		L		
	口選択								□軒裏の構造					
	口否選択													

No.4

	性能表示		施	工状況報告欄;	*					施		確認欄	有か記人のこと
	事項(等級)	検査項目	変更等		_	理0	D 時	÷期	76.37 L. H.		_		指摘事項の記録
			の内容	関連図書					確認内容※		В		二次
劣化	劣化対策	外壁の軸組 ・枠組等	□無						□通気構造等の 状態			適・不適	適・不適
\mathcal{O}	□ 等級3	11 //27 (1							□保存処理の方法				
減に	□ 等級2 □ 等級1								 ○保存処理の状態				
関す	_ ,,,,,,								□部材の小径				
する									□部材の樹種				
ع 2 2		土台の防腐 防蟻	□無						□部材の樹種			適・不適	適・不適
									□薬剤処理の 材料、状態				
									□土台と外壁の 取合部(水切り等)				
		基礎高さ	□無						□地盤面から基礎 上端までの高さ			適・不適	適・不適
		床下換気 防湿措置	□無						□換気口(基礎開口) の位置			適・不適	適・不適
		16 16 TELL							□換気口(基礎開口) の大きさ				
									□ねこ土台の寸法・ 形状				
									□ねこ土台の位置				
			□無						□コンクリートの打設範囲			適・不適	適・不適
									□コンクリートの厚さ				
									 □防湿フィルムの 種類、厚さ				
									□防湿フィルムの 設置状態				
		地盤の防蟻	□無						□コンクリートの 打設範囲			適・不適	適・不適
									□土壌処理の材料			~ 1 / 2	~ 1 / 22
									□土壌処理の状態				
		小屋裏換気	□無						□給気口、排気口 の位置、大きさ		ĺ	適・不適	適・不適
		浴室・脱衣 室の防水	□無						□浴室の防水措置			適・不適	適・不適
									□脱衣室の防水措置				

No.5

	性能表示	1	協立	工状況報告欄	%					協			欄ど肔⊥(官理 <i>)</i> 確認欄	有が記入りこと
	事項(等級)	検査項目	変更等	1	管:	THE O	つ時	: #B			v	•••	判定結果及び	と海東頂の記録
	尹 景(守//次/	1天旦-天口	の内容	関連図書			3		確認内容※		B		一次	二次
終住	維持管理	専用配管	□無		1		Ü	1	□コンクリート内					
持	対策等級	17/11/11/11	□ /···						埋込み配管	ľ			適・不適	適・不適
管	(専用配管)	地中埋設管	□無		Ħ	П		П	□屋内部の		l	П		
理									地中埋設部			ľ	適・不適	適·不適
~	□ 等級3					П			□外周部の		l	П		×2 1 ×2
の	□ 等級2					_			地中埋設部			_		
配	□ 等級1	配管の	□無		Ħ				□配管の仕様等、					
慮		設置方法							設置状態				適・不適	適・不適
に		専用排水管	□無		Ħ				□排水管の掃除口					
関		の清掃措置							(便所:腰掛式の場合				適・不適	適・不適
す									は取り外しによる)					
る									□トラップの清掃措置		İ			
_									(給排水設備品)					
と		配管点検口	□無											
													適・不適	適・不適
									□開口と配管の関係					
温	断熱等	躯体の断熱	□無						□断熱材の種類-1					
熱	性能等級	性能							(床、土間床等の外周部)				適・不適	適・不適
環	□ 等級7								□断熱材の		İ			
境	□ 等級6								保管、養生					
	□ 等級5								□床の断熱構造		İ			
工	□ 等級4													
ネ	□ 等級3								□土間床等の外周部					
ル	□ 等級2								の断熱構造					
ギ	□ 等級1								□断熱材の種類-2					
<u> </u>									(屋根又は天井、壁)					
消														
費									□屋根又は天井の					
量									断熱構造					
に									□壁の断熱構造					
関														
す		躯体の	□無						□(防湿)気密層の種類					
る		気密性											適・不適	適・不適
۲									□(防湿)気密層の位置					
と														
									□(防湿)気密層の					
									施工状態	-		_		
									□基礎断熱工法の					
		HH L-		<u> </u>	+				気密の措置		<u> </u>	_		
		開口部の	□無						□窓等の					\ \
		断熱性能等			+				仕様・気密性	L		_	適・不適	適・不適
									□ドアの			╚		
		BB - 4c			+			H	仕様・気密性	⊩	L	_		
		開口部の日	□無						□庇・軒等の状態			╚	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
		射遮蔽性能			+			Н	디스로까나스피로마쓰	⊩	1		適・不適	適・不適
									□付属部材の設置状態					
				h-	+			Н	口宛,いマの仏母	⊩	H		-	
							\Box		□窓・ドアの仕様	IШ	I	\sqcup		

施 工 状 況 報 告 書【戸建住宅】

No.6

検査方法 - A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認

※の欄を施丁(管理)者が記入のこと

									/•	(0)	惻を旭工(官垤)	石が記入りこと
温熱	一次エネル ギー消費量	躯体の断熱 性能	□無				□断熱材の種類				適・不適	適・不適
環境	等級 □ 等級 6						□断熱材の保管・養生					
· エ	□ 等級5 □ 等級4						□屋根又は天井の断熱 構造					
ネル	□ 等級3 □ 等級2											
ギー	□ 等級1						□床の断熱構造					
消費							□土間床の外周部の 断熱構造					
量に					1							
関す					1		□ドアの仕様					
るこ		開口部の 断熱性能等	□無				□開口部の大きさ					
<u>ک</u>		阿然江昭寺			1		□付属部材の設置状態				適・不適	適・不適
					1		□適用除外の窓の 面積					
		開口部の 日射遮蔽	□無		1							
		措置					□付属部材の設置状態				適・不適	適・不適
							□窓・ドアの仕様					
							 □適用除外の窓の 面積					
		設備機器等	□無		1							
							□換気設備の仕様				適・不適	適•不適
					1		□給湯設備の仕様					WE NE
					ı		□照明設備の仕様					
							□省エネ設備の仕様					
		基本情報 ・主たる居室	□無				□室の名称					
		・その他 の居室					□床面積				適・不適	適・不適
		•非居室			1		□間取り					
	I .	1		1	 			_	1			

施 工 状 況 報 告 書【戸建住宅】

No.7

検査方法 - A: 実物の目視 B: 実物の計測 C: 施工関連図書の確認

※の欄を施工(管理)者が記入のこと

	性能表示		施	工状況報告欄ን	*					施.	工壮	沈	確認欄	
	事項(等級)	検査項目	変更等	関連図書		理の			確認内容※				判定結果及び	指摘事項の記録
			の内容		1	2	3	4			В	С	一次	二次
	ホルム	居室の内装の	□無						□製材等の有無				\\\\\\\\	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
	アルデヒト 対策	仕上げ材							 □特定建材の有無				適・不適	適・不適
境	(居室)							Ш	口付足建材の有無					
に									□その他の建材の有無					
関	□ 等級3									L				
す	□ 等級2		□無						(建材名:)					
る	口 等級1			_					□建材の性能区分				適・不適	適・不適
ت ح	│ □ 該当なし ┃							Ш	□建材の使用範囲			Ш		
_	(天井裏等)	天井裏等の	□無		-									
		下地材等]					適・不適	適•不適
	□ 等級3								□特定建材の有無					
	□ 等級2													
	□ 該当なし								□その他の建材の有無					
		1	□無		-				(建材名:)	\vdash				
			□ ;;;						(建材名・)□建材の性能区分				適・不適	適・不適
	□選択								□建材の使用範囲					
	口否選択									L				
	換気対策	居室の換気	□無											
		対策							の仕様・位置	L			適・不適	適・不適
	□ 伝伝授系	(機械換気 の場合)						Ш	□主ダクト長さ、位置、 曲がり、分岐			Ш		
		♥ <i>>></i> 勿 口 <i>)</i>						П	□枝ダクト長さ、位置、					
									曲がり、分岐					
									□端末換気口の仕様					
					_				•位置					
		居室の換気	□無						□給排気口の位置等				`* 7`*	`* ~ `*
		対策							 □居室等出入口の			П	適・不適	適・不適
]	通気措置					
		局所換気	□無											
		対策											適・不適	適・不適
									□浴室の換気措置					
	口選択				-				 □台所の換気措置	L				
	口否選択								口口別以換刈相直					
光		単純開口率	□無						□開口部の					
	%	及び方位別							形状、形式				適・不適	適・不適
視		開口比												
環	方位和側口比]							
	北: % 東: %								□開口部の寸法 (高さ、巾、角度)					
関	南: %								(同0、中、丹及)					
す	西: %													
る	上: %													
5	□選択													
と	口否選択	BB	for	_						Ŀ				
音環	透過損失 等級	開口部の	□無						□開口部の遮音性能			Ш	· 本 . 不 · 本	· 本 · 不 · 本
境	寺 級 北: 等級1	遮音性能											適・不適	適・不適
に関	東: 等級2													
声す	南: 等級3								□開口部の設置状況					
	西: 該当なし										1	1		
こと	口選択										1	1		
1 -	口否選択	1		I	1	1			1	II	1	1	I	Ī

施工状況報告書

No.8

検査方法 - A: 実物の目視 B: 実物の計測 C: 施工関連図書の確認

※の欄を施丁(管理)者が記入のこと

	性能表示		施	工状況報告欄;	*			1	施			確認欄	14か記入りこと
	事項(等級)	検査項目	変更等		_	理の	時期	沙					指摘事項の記録
			の内容	関連図書			3 4	惟認的各次	А	В	С		二次
	高齢者等 配慮対策	部屋の配置	□無					□日常生活空間 の配置					
	等級											適•不	適•不
	□ 等級5							の設置					
へ の	□ 等級4 □ 等級3	段差	□無					□玄関出入口の段差					
配	□ 等級2							□玄関上り框の段差					
慮に	□ 等級1							□浴室出入口の段差				適• 不	適•不
関す							╁	□バルコニー出入口	┢				
る								の段差					
Ξ,								□その他の部分					
と							-	の段差 □日常生活空間外	┢				
							ľ	の床の構造	ľ	ľ			
		階段	□無			ı							
								□踏込み寸法				適・不適	適・不適
							╁	□まわり階段部分	╂				
								の構成	ľ	ľ			
								□平面形状					
								□すべり止め					
		手すり	□無					□階段の手すり					
							+	□便所の手すり	╂	L		適・不適	適・不適
						-		□浴室の手すり					
						-		□伝星のチャリ					
					Н		_	□ 以前の子すり	╠				
		手すり	□無		Н	-		□バルコニー	ЦШ				
		(転落防止						の手すり	ľ	ľ		適・不適	適・不適
		のための						□2階以上の窓					
		手すり)					+	の手すり □廊下及び階段	╂	_			
							ľ	の手すり					
						[□手すり固定状態					
								□手すり子の間隔					
		通路•	□無		Н	-	+	□通路の幅員	╬				
		世 出入口					ľ	一連路が幅具		╵		適・不適	適・不適
		の幅員						□玄関出入口					
							+_	の幅員	1_	L		1	
								□浴室出入口 の幅員	╟				
					Ш		\perp	の幅員	╙				
		寝室・便所 ・浴室の広さ	□無					□浴室の広さ				適・不適	適・不適
								□便所の広さ					
					H	ł		□便器種類(腰掛)			-		
	口選択				H				╫		-		
1	口否選択				1					1	1	Ī]

施工状況報告書

No.9

検査方法 - A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認

※の欄を施丁(管理)者が記入のこと

	性能表示			施	工状況報告欄;	*					施			確認欄	有が記入りこと
	事項(等級)	検査項目	1	変更等		_	理()時	期	-/	_				指摘事項の記録
		15(111)(1		の内容	関連図書	1		3		確認内容※		В			二次
防	開口部	住戸の		□無		t			П	□戸・ガラスの性能・			П		
	侵入防止	出入口		_ /						施工状態				適・不適	適•不適
	対策	(区分a)								□錠の数・性能・仕様・			П	2 . 2	2
関		口対策あり								設置状態					
す	階	□雨戸等含													
る		口その他								施工状態					
۲		口該当なし													
と		外部からの	開	□無						□サッシの性能・					
		接近が比	閉機							施工状態				適・不適	適・不適
		較的容易	機構							□ガラスの性能・					
		な開口部	あ							施工状態					
		(区分b)	り												
										施工状態					
		口対策あり								□錠の数・性能・仕様・					
		□雨戸等含								設置状態	-		_		
		口その他								□雨戸等の性能・					
		口該当なし	開			+	-	\blacksquare	_	施工状態	╠				
			閉	□ <i>/</i> ///						□ガラスの性能・					
			機			+				施工状態 □雨戸等の性能・	╂				
			構な							□雨戸寺の住底・ 施工状態					
			l			+				旭工小忠	╂				
		その他の	開	□無		+	H	H		□開口部の位置	┢		П		
		開口部	閉									Г		適・不適	適·不適
		(a及びbに	機				İ			□サッシの性能・			П		
		掲げるもの	構あ							施工状態					
		以外のもの								□ガラスの性能・					
		(区分c)								施工状態					
										□戸・ガラスの性能・					
		口対策あり								施工状態					
		□雨戸等含								□錠の数・性能・仕様・					
		口その他								設置状態					
		口該当なし													
			HH			-				施工状態	↓				
			開閉	□無						□開口部の位置					
			機						_	- 13 U.Ab	╠				
			構						Ш	□ガラスの性能・			Ш		
			な			-		-		施工状態	⊩				
			し						Ш	□雨戸等の性能・ 施工状態			Ш		
		評価対象外	<u> </u>	□無		+		H			┢				
		の開口部							ш	口用口部の入るで	-	ľ		適・不適	適・不適
														旭 小旭	旭 小旭
1													l		
1													l		
1												İ			
1						Ī									
1															
	口選択														
1	口否選択														

注) 1つの階ごとに1つの欄を使用し、2以上の階がある場合には、階の数だけ各欄を連結して使用する。